

足高SSH通信

第67号
H30.10.18
足利高校SSH係

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikaga/nc2>

オープン理科教室（第12回）

- ①ねらい 地域の小学生に、科学のおもしろさや不思議さを体験し、興味・関心を深めてもらう。また、本校生徒はTA(ティーチングアシスタント)として参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。
- ②実施概要 平成30年7月21日(土)、足利市生涯学習センターで、SSHオープン理科教室が行われました。当日は市内の小学生60名が9つの実験・工作プログラムに参加しました。

写真は実験プログラムの一部です。



テンセグリティ (わりばしを使った球体)



ダブルリング飛行機



カラフルボール



しおり作り



たたみかえ折り紙



閉講式 (修了証授与)

③感想 参加者の感想

- ・ダブルリング飛行機がとても楽しかったので、家でもやってみたいです。
- ・ふくがんの形がわかる顕微鏡で見たいです。
- ・全部楽しかったので次もぜひやって下さい。
- ・高校生がやさしくおしえてくれてうれしかった。
- ・もうちょっと時間を長くしてほしいです。
- ・高校生の説明などが分かりやすかったし、とても楽しませてくれました。初めてだったけど、来て良かったです。
- ・テンセグリティが楽しかったです。「わりばしとがびょうとゴムだけでできるんだあ」と思いました。
- ・スライムをはじめてつくったけど、かんじょくがすごくてまたつくりたい。

TA (本校生徒) の感想

- ・教える大変さがわかった。
- ・あまり準備ができず、慌ててしまうところもあった。
- ・人に教えるために「どうしてこの方法でやるのか」まで理解する必要があったので、より実験について考えることができた。
- ・人に教えるというあまりない機会なので、良い経験になったと思います。
- ・説明をして喜んでもらえると嬉しかったです。
- ・空気砲で子供たちが楽しく遊んでいるのを見られてよかったです。
- ・休みが全くなく、行動しっぱなしだったので、小学生たちに楽しんでもらえたのかなと感じました。
- ・子供はかわいい。教師になるのもあり。
- ・最初は心配でしたが、しっかり教えられたのでよかったです。

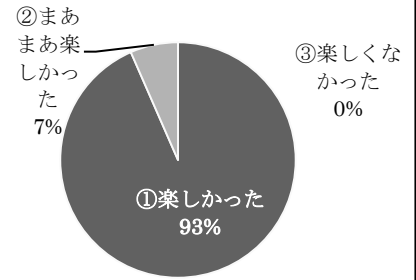
④成果と課題

参加した小学生のほとんどがオープン理科教室を楽しみ、機会があったらまた参加したいと思っている小学生も多く、手応えのあるアンケート結果であった。複数種類の企画を体験できる日程ではあったが、もっと多くの時間が欲しかったという意見も多く、小学生の理科への関心が高いことがうかがえる。また、身近な事物現象に関しても実験として取り上げることでより科学に関心を持ってもらえている様子も見られた。

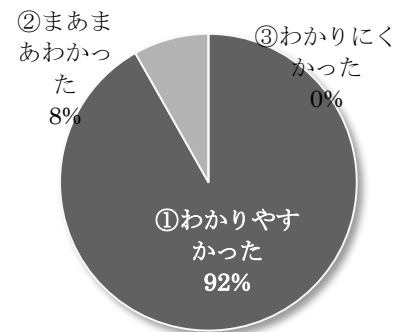
本校生徒の感想においても、教えることの大変さを感じるとともに、教えることの楽しさも感じることができた生徒が多く見られた。普段は教えを受ける立場のものが、教える立場となって伝える力の大切さを改めて感じることができたのは、今後の学生生活においても有効な効果であるように考えられる。

今後の課題は、複数回参加している小学生もいるので、実験内容を一部リニューアルする必要がある。また、今年度でSSH事業が終了するので、今後どのようにオープン理科教室を実施していくかが課題である。

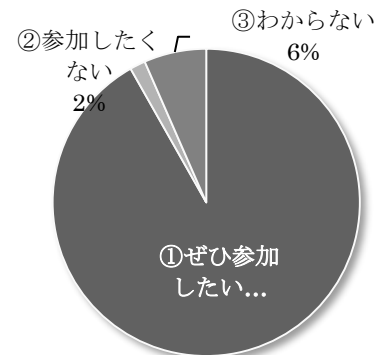
子供へのアンケート結果(抜粋)



質問1：今日のオープン理科教室は楽しかったですか。



質問2：足利高校の生徒の説明は分かりやすかったですか。



質問3：また機会があったら参加したいですか。